

# 障害馬術競技における安全対策

馬術専門部 高橋悟（本庄第一高等学校）

## 障害馬術競技について

障害馬術競技は、競技馬場に設置された障害物を、決められた順番通りに飛越、走行するもので、障害物の落下や馬の不従順などがなく、早く走行しゴールすることが求められます。障害物の大きさは、オリンピックなどのトップレベルの大会では、高さが 160 cm を超えるものもあります。障害物の落下が減点となる標準競技と、落下をタイムに換算するスピード&ハンディネスとがあります。標準競技では減点が少ない人馬が上位になります。なお、競技中に、それ以降は走行してはいけない状況のことを『失権』といい、審判員がそれを告げるベルを鳴らします。

- \*不従順（反抗）・・・障害物の前で馬が止まったりするなど、乗り手の指示に従わないこと
- \*経路違反・・・・・・・・決められた飛越の順番を間違えること
- \*失権・・・・・・・・競技中にそれ以降は走行してはいけない状況のこと

日本馬術連盟公認競技における5つのグレード

障害	中障害 A	中障害 B	中障害 C	中障害 D
160 cm	140 cm	130 cm	120 cm	110 cm

## ライセンス取得について

社団法人日本馬術連盟が発行するライセンス（C～A級）  
高校生専用ライセンス（HC～HB級）など

一般的には社団法人全国乗馬倶楽部振興協会が発行のライセンスを取得できるメニューが多く、5級は初心者でも簡単に取得できることから体験乗馬と同じように気軽に参加する方も多いようです。馬術競技を目指している方は3級以上を目標にする場合が多く、2級以上を取得すると社団法人日本馬術連盟発行のB級に移行することも可能になります。高校生の大会では、表1（参加資格）の指定級取得が必要になります。

## 高校生が参加する大会一覧

平成 26 年度

表 1

実施月	開催団体	行事	場所	適用	参加資格
4月	関東高等学校 馬術連盟	第 65 回関東高等学校馬術リーグ戦	馬事公苑	半自馬	HC級以上
6月	関東高等学校 馬術連盟	第 57 回関東高等学校馬術選手権 予選及び顧問総会	馬事公苑	半自馬	HB級以上
	関東高等学校 馬術連盟	第 48 回全日本高等学校馬術競技大会 関東地区予選会	御殿場市馬術 スポーツセンター	貸与馬	HC級以上
7月	全日本高等学校 馬術連盟	第 48 回全日本高等学校馬術競技大会	御殿場市馬術 スポーツセンター	貸与馬	HC級以上
8月	全日本高等学校 馬術連盟	全日本高等学校馬術連盟夏期講習会	馬事公苑		
9月	全日本高等学校 馬術連盟	第 25 回全日本高等学校馬術選手権	馬事公苑	貸与馬	HB級以上
12月	関東高等学校 馬術連盟	第 50 回関東高等学校自馬競技大会	馬事公苑	自馬	

## 安全指導

- ・馬具は常に点検する。
- ・ヘルメットを必ず着用する。
- ・初心者の場合は、プロテクトを着用する。
- ・体にフィットした服装を着用する。
- ・馬の後ろに回るときには、馬の体に触れながら動く。
- ・落馬しそうになった場合は、なるべく馬から離れて落下できるようにする。

☆経路違反は絶対にしてはならない。決められた飛越の順番を守る。(図1)

(障害左は白旗、右は赤旗)

- ・走り過ぎずに標準タイムを意識して障害飛越を行う。

※生徒の実力を考慮する必要から特に県大会などで設定しているタイム。

高いレベルを要する大会では、規定タイムや制限タイムを設定している。

# 安全対策グッズ



ヘルメット



プロテクター



ブーツ

